

## 夏季小兒の衛生に就いて

五 嶋 博

皆さん、茲にお集の方々は、申すまでもなく、家では一家の主婦として家事を治め、その上に尙ほ小供の母親としての勤に、心遣に、一方ならぬ苦勞の多い方々であるにもかゝらず、今夜お子供衆のために、多數こんなにお集り下さつて、私の御話を聞いて下さるといふことは、實に満足にたへません。考へて見ますと、此の世に生存してゐる吾々人間は、身分が高からうが、低からうが、金持であらうが、なからうが、皆それ／＼の天から與へられた職分、つとめを持つてゐまして、その職分を充分に勤めるか、どうかに依つて、其人の人間としての價値がきまるのであつて、決して、身分の高下や、貧富の差などで、きまるのではないと思ひます。それですから、皆さんが、主婦としての勤、母としての役目を、充分につくせば、それで此の世に生甲斐のある立派な人と申すことが出来るのであります。私が小兒の醫師として、小兒の病を治し、小兒の健康を増進す

ることに、骨を折ることが天から與へられた我が職分で、今晚お話をしにわざ／＼出てきましたのも、我が職分をつくす一端であると同様に、わざ／＼私の話を聞きに来て下さつたことも、母としての皆さんのつくすべき職分を實行されるといふわけになるのですから、私も充分お利益になることを申し上げますから、どうかそれを實行して下さい、お互に職分をつくしあはふと思ひます。

子供と申しても、哺乳兒から小學校へ通ふ年までの年齢の違もあれば、その注意の仕方の違も、亦出来るわけで、茲では毎日御預してゐる皆さんの御子達の事についてゝすから、三、四歳から五六歳位の年齢で、一般に申せば幼稚園時代の子供様のことをお話いたします。

衛生といふこと、つまり身體を大切にすること、病氣にかゝらないやうにすることは、これでなかなか六ヶ敷いことで、衛生上悪いことはやめ、良い

ことは進んでやると、何事も思ふ通に出来ればよいがさうは行かぬ、いくら金銭をかけても、出来ないこともあれば、又いくらかうしたいと思つても、金銭がないので出来ないこともたくさんある、併し費用も何もなくとも、吾々の精神、心掛一つで出来ることもたくさんあります、突詰めて申せば、金銭上のことは第二段で、一番大切なことは吾々お互の心がけであつて、これがなければ金銭が山ほどあつても出来ず、これさへあれば金銭などなくともすむといふわけであります、私の申すこともつまりこの心がけをお教することが眼目であつて申しても出来にくいやうな無理な註文はしないつもりでありますから、どうか、そのつもりでお聞願ひます。

夏季小兒の病氣は何と云つても、胃腸の病氣が最も多い、「病は口から」と申すごほり、口へ入れるものさへ注意しますれば、病氣にならずに済むのです、この注意がなかく、届きませぬ、大人でも夏は食事が進まなかつたりするのは、暑のために胃腸の働が鈍るからで僅の過食も餘計障るといふわけで、これは皆さん自分でよく知つてをられますが、子供は食事の進まない時はもう病氣を起しかけてゐる時

で、そんな時は殊に用心をしなければなりません、それから、夏は食物が腐敗しやすいことも、病氣を起す原因の一つで、大人が多少わるくなりかゝつてやうなものを食べても、一寸下痢する位ですむ程度でも、子供だとなかくの大病を起して命にかゝはるやうなことになるから、少しも油断が出来ないのであります、それから夏暑いので、咽喉が渴いために、湯水をどうしても多く飲過る、それも子供は水のやうなものでありさへすれば、腐つた水であらうが、毒にならうが、少しも考へずに飲むといふ次第で、もう小さい時から、始終云ひきかせて、無暗なもの飲んでわるいといふことを、よく承知させておかねばなりません、それでは飲物は一切やらない方がどうかといふと、そうはいかぬ、一定の飲物は殊に夏、汗をよく出す時は、やらないと身體の爲によくはない、それ故、面倒でも、毎日湯ざましを土瓶なり、ビール瓶なりに作つておいて、飲みたい時はそれを飲むやうにしておくごよろしい、先づかういふ風に飲食物を注意しその上過食過飲のないやうに氣を附ければ、先づ胃腸の病氣は免れる。も一つ大切なことは、俗にいふ寝冷をさせないことです。

夏の蒸暑い夜など、子供は布團などいくらかけてやつても、かける後からはぐといふ仕末で、一々注意することになると、一晚寝られない譯です、それでどこが一番やられるかといふと、やはりお腹です、お腹を冷すと、やはり下痢を起したり、風邪を引いたりする、殊に過食の後でも、寝冷をすると、一層重い病氣をおこしやすい、それで子供が布團をはいでもよいやうに、綿の入つた腹がけのやうなものなら一番よろしいが、ぼろでも座布團でも巻き付けてもよみしい、勿論身體はどこでも堅くしめ付けるのは、よろしくないから腹掛のやうなものが一番よろしいかと思ひます。

さて若し子供が病氣にかゝつたとしたら、その時の注意はどうか、單に下痢位の時は、何となく元氣がなかつたり食慾がなかつたりする、それもひどくない内は、大抵の子供は二三度下痢しても、一人て便所へ行つてると、たまつてるのが多いから、わかないことが多い、そんな時でも、子供の様子や、便所へ度々行くことや、平常どこか變つてること、氣が付けば、よく聞いて、若し下痢があることがわかれば、醫者に相談するか、それほどでなくとも、

も、少くも食事をへらしてやるなり、お粥にするなり、又流動食にするなりしてやらねばならない、中には醫者にまでかけてゐて、下痢の四五度もあるのに、かまはず御飯をやつてゐる方もあつて、そんな方は薬をいくら飲んでも治らない、實際胃腸の病氣は薬よりも食養法が大切で、薬はなくても食養法一つで治ることはあつても、食養法がわるいと薬など浴びる程のんでも治らない、これは吳々注意していただき度い、同じ胃腸の病氣でも、赤痢疫痢となる大變です、これは傳染病ですが、何もそんな病人の側へ行かなくとも食過ぎたり、生の果物を餘計食たり、腐敗しか、つたものを多く食た時にも起る、赤痢の極く重いのが疫痢と名のつく模様になると、先づ一命は助らぬものと思はねばならない程、恐い病氣です、若しこれにかゝると出来るだけ早く醫者にかげなくてはならぬが、疫痢などの起る模様は、非常に急で、一寸のことで手後になりやすい、そんなときは始め今まで元氣よく遊んでゐた子供がだるさうに寝ころんだり、急に嘔吐を催したり、又いつもと違つた時間に晝寝をしたり、そんな時に觸つて見ると、もう身體が火の様に熱かつたりして、そ

の中に盛に嘔吐をしたり、下痢を催して來たりする、時に頭痛や腹痛を訴へる、その中に意識がぼんやりして來て痙攣を起して來る、もうそうなる時、腹や胸は火の様に暑くとも、手足の尖は氷の様に冷くなり口唇の色や爪の色、さては處々の皮膚の色が、斑斑に黒ずんだ紫色に變つて來る、脈もふれにくくなり、呼吸はグー／＼／＼の様になり、荒くなる、もうこゝまで來ると、到底命を取止めることは六ヶ敷い、そしてわるくなり始めてから半日か一日の中に片がつくのですから恐ろしい、こんなになるのは腹の中のわるい食物からおそろしい毒が出來る爲めですから手當としては、出來るだけ早く、下劑をのませたり。灌腸をして排便するなり、尙その上に食鹽水で灌腸をしたりして、腹の中のを残らず出す工夫をすることです、この手當が早く届けば届く程治がよい。子供の病氣は一體に變化の多いものですから、油斷が出來ないけれど、わけてこの病氣は一刻を爭ふ位で、子供の平常によく注意してゐる方は、少しでも元氣がなかつたり、欠伸を無暗にしたり、熱があつたりしてゐることに、氣がついたら、急いで手當をするやうに心がけてゐなくてはなりません。疫痢や

赤痢の外に、腸チフスやバラチフスなどいふ傳染病もありますが、此の方は一體に子供は大人よりも軽くすむし無理をしなければ、滅多に死なないがこれは唯高い熱が長く續く病氣です、併し注意することは一人でもこんな病氣が自分の家に出れば傳染病であるからして、側の者にうつる危険があるといふことゝ、病人は自分の家におかずに早く病院なりへ隔離することが大切です、そうしないと自分の家へ後から／＼と病人を出す怖があるばかりでなく、近所へ迷惑をかけることになる、主に大小便からうつるのですが自分の家では大小便の消毒などは到底充分に參らぬから、一人の不注意のために多勢の人へ難儀をかけるといふことは、人として最も慎むべきことです。世の中から、病院へ送るやうにしなければなりません、相合ふ心持で事をするやうになれば、少くもこの傳染病などはなくなつてしまふにちがいないと思ひます。

百日咳、麻疹、猩紅熱、水痘なども、やはり傳染する病氣で、幼稚園や小學校の子供になか／＼多い、チヨイ／＼見るとは年中絶えませんが、時々大流

行を見ることがありましてその時によつて病氣の性質が一般によい時もあり、又は餘病などを起しやすく、性質のわるい時もありますが、親が不注意な爲め、學校なり、幼稚園の先生方が不注意なためか、百日咳の咳を盛にしてゐても麻疹や水痘のまだ充分治らないのにもかゝはらず、幼稚園へ出したり、學校へ出したりしてゐるために、幼稚園や學校から、傳染して來る場合も少くないやうですが、之は誠に遺憾なことで、家庭が他人の迷惑といふことを考へて、そんな子供は外へ出さぬやうにし、幼稚園や、學校では、そんな子供が見付かつたら、家庭へ注意して登校を禁じるやうにし度いものです、兎も角どこそこの子供が病氣をしてると聞いたなら、自分の子供にいひつけてその家へはやらないやうにすることも大切ですが、一方病人のある家でも傳染の危険のある場合はわけを話して、他家の子供はよせつけぬやうにすることも肝心のことゝおもひます、人の利益をはかるにはそこまで考へなくてはならないと思ひます、それから衛生上、今一ついましめたいことは子供の買食といふことで、これは子供のしつけの上にもよくないことゝおもひますが、少くとも衛生上か

ら見ても、駄菓子や、蜜豆や、ところてんや、大道のアイスクリームや、何一つとして見たばかりでも吾々が考へるとお腹にさわりさうなものばかりで、それもこしらへたてとかよくごみや蠅をよけて腐らないやうにしてあればまだしも、埃や蠅のたかり放題にしてあるのを見ると、全く嫌になつてしまふ、尤も警察の方でも飲食物の取締をしてゐますがそれで安心といふわけには行かない、若しも商ふ人々に徳義心があり、人のためといふ考へが充分であれば、これほど結構なことではなく、これほど安心なことはないのですが、大抵そこまで考へて商賣をしてる人が少いといふことは遺憾なことゝ思ひます。

夏炎天に帽子も被らず、外に居るのは、よくないことも申さずともおわかりのことですが、外の遊にも御注意する點が澤山あります、どうも子供は泥いじりや、溝渠ざらひのやうな汚い遊が好きで困ります、理想から行けば早く溝渠などは蓋をして、下水工事を完全にしなくては駄目だともおもひます、水にはいることも小さい中はよした方がよいと思ひます、入浴の方は暑い時ですから毎日でも結構です。

此頃毎朝庭先で小雀の聲がよく聞えます、見ると

未だ嘴の黄色い巢立つて間もないやうな小雀に親雀が餌を口づけてゐるのです、私は何ともいへぬよい心持で見えてゐます、この親子の愛があつてこそ、自然が榮えてゆくの、古人が申したやうに、「子を以つて知る親の恩」とか全く子供程可愛いものはないのです、動物のやうに、唯本能的に愛するといふばかりでなく、吾々人間は一步進んで何故愛するか、どう云ふ風に愛すべきか、眞の愛とはどんなものか、親のつくすべき道はどうか、といふ風に考へて、そして間違のない愛を持ちたいものだと思ひます。子供は吾々祖先からうけついで此の血と、肉と、魂を永久に未來に傳へてくれるもので、次の世界を作るものであるから、子供が健康でそしてよく教育されて賢くなるといふことは、此の意味から申しても誠に望ましいこと、云はねばなりません、皆様もどうかそのつもりで可愛がつてやつて下さい。長々と申まして御退屈であつたことを御詫します。

(本所賛育會託兒所母の會にての講話)

## ○丸龜市の子供愛護デー

丸龜市に於ける子供愛護デーは丸龜市立東西幼稚園保護者會及鷗鳴學會主催となり、六月六日七日盛大に舉行致しました、宣傳方法及致しましては、第一日六日は美しく裝飾したる自動車に幼兒をのせ、委員及保母附添はれ、幼兒の樂隊を先頭にてピラを配布致しました。

田舎のことゝて幼兒の中には始めて自動車にのりし者が多數でしたから、大喜びにて父兄母姉も幼兒の自動車にのり居りしを見て、大に満足に思ふて居りし様でした。幸ひ此日は中學校記念日の運動會が有りましたので、同校運動場へ行き、澤山の來賓や見物人の中を幼兒の樂隊を先頭に宣傳の謠をうたいつゝ、運動場を一廻り致しました。大に效力があつたやうでした。

二日目七日は午後一時より市公會堂にて幼兒の遊戯會お伽會講演會等を開き、零時三十分兒童愛護の旗を持ち、三百名の幼兒公會堂へニコニコ顔にて集りました。幼兒遊戯會が終りますと、幼兒には別室にてお伽會を開き其道に達した方にお話を御願ひ致しましたので、可愛子供が溢る、ばかりでした。

保護者や一般市民の爲めには、香川縣女子師範學校長藤村與六保育會副會長岡田唯吉兩氏の最も懇篤なる愛護につきてのお話が有りました。

(山下氏報)